

## わたしたちの感じていること、伝えたい思い



養老町への  
深い郷土愛を主張する  
玉井 奏多さん

積み重ねた  
過程の価値を伝える  
安福 優月さん

6月7日(日)に町中央公民館 中ホールで令和8年度 養老町少年の主張審査会が行われました。小学生の部は、郷土愛を深めて行動することがまちの未来につながると考え、これからも愛する養老町のために、魅力を次世代につないでいく決意を発表した笠郷小学校6年生の玉井奏多さんが、中学生の部は、大切なのは結果だけでなく、積み重ねてきたものにも価値があり、地道に頑張った自分を認めることで、自信を持って未来を描くことができるという考えを発表した高田中学校3年生の安福優月さんがそれぞれ最優秀賞に選ばれました。

発表者全員がそれぞれの思いを堂々と主張し、聞いている人たちの心に訴えかける素晴らしい発表でした。

## 水害と戦うための備え



6月7日(日)に揖斐川養老大巻水防拠点(大巻地内揖斐川右岸堤)において水防訓練を実施しました。当町においてレベル3大雨警報が発表されたという想定のもと、参加者は3班に分かれて土のうを作成した後、堤防斜面漏水箇所への対応として「月の輪工」、従来の「月の輪工」から鋼杭と土による間詰めを省略した「月の輪工(杭省略型)」、堤防越水への対応として「積土のう工」の3工法を実施しました。また、訓練には国土交通省中部地方整備局の協力により災害対策車両として照明車と排水ポンプ車が派遣され、展示されました。

消防団員と町職員が協力して取り組み、水害に立ち向かうために実践さながらの訓練となりました。

## 地域を挙げての大運動会



5月30日(土)に広幡小学校において「広幡地区春の大運動会」が開催されました。広幡地区では、広幡地域自治町民会議が中心となり、小学校の運動会と町民運動会を同時に開催し、幼児からお年寄りまで地域の誰もが参加できる運動会としています。

雲ひとつない晴れ空のもと、地域の合言葉である「広幡はひとつ」のとおり、地域がひとつになってリレーや綱引きなど、それぞれの競技で勝利を目指して競いました。運動会のトリを飾る地区対抗綱引きでは、各地区の代表選手による真剣勝負が繰り広げられ、大きな声援が送られました。どの種目においても力を出し切った後には互いにたたえ合い、笑顔あふれる運動会となりました。

## 宝暦治水が結ぶ“時を超えた交流の輪”



5月26日(火)に高田中学校と東部中学校の生徒代表が鹿児島市立甲東中学校を訪れ、交流会が行われました。この交流会は、木曾三川治水事業を指揮した平田靱負の生誕地が甲東中学校区内にあることが縁で始まり、これまで継続して行われています。それぞれの学校の特色ある取り組みを紹介し合ったほか、方言や文化の違いにも触れ、互いの地域への理解を深める貴重な機会となりました。

また、互いの学校活動について意見交換する中で、高田中学校と東部中学校の生徒会長は「甲東中学校のよさを私たちの学校にも取り入れ、学校をよりよいものにしていきたいです」と話し、意義のある交流会となりました。